

坂井輪コミュニティバス *** おかげさまで運行3年目 ***



3年目なので改めて…

Qバスは住民の皆様の熱意で2008年4月1日より運行が開始されました。

Qバスをもっと便利にするために新たな夢に向かって走り出しています。夢の実現に向けて皆様のご協力をお願い致します。

夢には続きがあります。走り出したバスです。皆様の手で育ててください。

ご存じですか。コミュニティバスが必要な理由一。

区役所への足の確保のために

政令都市になって、区役所を中心とした行政となりましたが、坂井輪地区は、東西方向には市街地に通じるバイパスや鉄道はあっても南北を結ぶ公共交通機関がなく、402号線沿いの住民、南部の流通センター・小新地区の住民のために、区役所への足の確保が必要となりました。

保険・医療や福祉の利便性を高めるために

高齢化していくこの地域沿線には、済生会病院、新潟医療センター（旧こばり病院）、聖園病院、信楽園病院附属有明診療所、西新潟病院、新潟信愛病院、労働衛生医学協会をはじめ、多くの医療機関があります。また、駐車場がない老人憩いの家（小針荘、西川荘 黒崎荘など）を結ぶ路線としても重要なのです

街づくりの活性化を図るために

区役所をはじめ、西総合スポーツセンター、西新潟市民会館、坂井輪公民館、西警察署などの公共施設を結ぶだけでなく、小針駅・寺尾駅を結ぶことによって学生の足の確保にもつながり、街づくり推進に拍車がかかります。

環境を守るために

地球温暖化に伴う排気ガス規制など、車社会に歯止めがかかる中、この循環バスを通すことによりマイカー通勤が減少したり、同時に夏の海水浴場への足も確保し、環境問題にも貢献します。

経済活動をさらに高めるために

アピタやサティなどの大型店を抱える地域であり、広範囲における既存の坂井輪商工振興会の活動の活性化につながります。また、流通センターと住宅地域との雇用のバランスなどを含め、大いに経済の活性化が求められるからです。

真の「コミュニティ」のために

コミュニティバスは、単なる交通システムではなく、さまざまな市民活動の架け橋となるものです。そのためにコミュニティ誌を発行し、政令指定都市の区役所を中心としたコミュニティの形成、情報の場の提供先になっていくためなのです。



▲ 西区役所



▲ 済生会新潟第二病院



▲ 新潟医療センター



▲ 新潟サティ



▲ アピタ新潟西店

平成22年度 事業実施の方針

- ・ 会員の増強によりNPO法人の組織を拡充
- ・ 新潟市住民バス制度にて運行
- ・ コミュニティ誌の発行により住民への協力とバス利用促進を図る
- ・ 朝夕増便の検討、取り組み

新年度を迎えて

理事長 本間 信一

Qバスが走り初めて丸2年、地域住民の皆様からご利用いただき、収支率30パーセントまで今一步の所まで来ています。運行2年で培った経験を元に、皆様方にご利用しやすい運行めざし、増便、時刻の変更等を検討しています。去る5月6日、平成22年度第2回市長の西区ミーティング（自治協議会委員の部）で市長に増便についても援助をお願いしました。

（本間、発言）

目的は、渋滞緩和やCO2削減などにもつながるので通勤時間帯のバスを増便したいと考えています。

（市長、回答）

平日の増便、土日運行について、社会的な実験的な実施という相談をいただければ、チャレンジに値するのではないかと。トライアルという形で支援をしていきたい。

【新潟市西区ホームページ記載】

市長より心強いご支援の約束をいただきました。時刻表作成、広報誌の発行、行政、新潟交通との三者協議等準備を整え一日も早い増便を目指します。会員、自治会、企業、病院、商店等の皆様には、本年も更なるご支援のほどお願い申し上げます。

平成22年度運行収支報告（4月～6月）

平成22年度 坂井輪コミュニティバス運行収支表

月	収入/円 A	NPO券 B	収入合計/円 C=A+B	人員	日数	走行キロ D	キロ単価/円 E	経費額計/円 F=D×E	収支率/% G=C÷F×100
4	354,300	14,014	368,314	1,931	21	3,612	323.53	1,168,590	31.5
5	305,200	14,014	319,214	1,670	18	3,096	323.53	1,001,648	31.9
6	351,400	12,558	363,958	2,003	22	3,784	323.53	1,224,237	29.7
合計	1,010,900	40,586	1,051,486	5,604	61	10,492	323.53	3,394,475	31.0

今年度も多くの皆様のご利用をお願いします。

目標 = 利用者数：1750人/月・収支率：3割

ショッピングや通院・通学、西区役所などへの足として多くの人に利用してほしい。西区には海岸部と内陸部を南北に結ぶ交通機関がないため、平成20年4月より子どもから高齢者まで安心して地域を移動できる交通手段としてQバスの運行を開始しました。

新潟市の補助以外は、運賃や広告収入、会費、寄付金などで運営されます。平日の朝夕増便、土日休日運行など更に利便性の高いバスにするためにも、ぜひ地域のみなさま方のご協力と支援が不可欠です。また、地域活性化や住民の生活をつなぐ手段にもなれたらと思ひ様々な取り組みをしています。併せて、CO2削減、道路の渋滞、騒音等も緩和し環境問題にも少しでもお役に立てればと思っています。これからもQバスにご理解ご支援をよろしくお願い致します。